

教育委員の執務室 設置について



丸内三千代 議員

教育委員長 規則で23項目について教育委員会に諮るとなっていますが、月1回の委員会では物理的に不可能で、その点でもどかしさは感じています。

丸内 義務教育の現場では、さまざまな問題が続発している状況の中、私たちはよく教育委員会に訴えようとか、教育委員会は何をしているのかなどよく言いますが、教育委員会とは。また教育委員会の最高責任者はごな

教育委員長 先に述べた23項目の中に「教育予算その他議会の議決を経るべき議案についての大綱に関すること」とありますので、説明は受けております。

丸内 学校内で問題が起きたときは、その学校長の責任であると思うが、学校外でおきた場合の責任者はどうなるのでしょうか。



下川カズエ 議員

悪質商法から高齢者等を 守る取り組みは

下川 高齢者等を悪質商法から守る合志市のモデル事業として、どのようなことに取り組んでおられるか。相談窓口開設以来の実績状況は。住民が悪質商法の被害にあわないうつ、モデル事業の終了後の対応は。

サロン事業の充実を

下川 介護予防、地域支えあい事業として、合併後の高齢者地域サロンの立ち上げ状況は。サロンを中心となつて運営する指導者や福祉レクリエーション養成講座の計画は。老人クラブ、シルバーヘルパーのサロン活動の役割は。

メタボリックシンドロームの予防

下川 40歳から74歳までの人で生活習慣病などを2つ以上持っている人がメタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）患者といわれています。この患者を対象とした特定健診と特定保健指導の意味とその実施目的について伺う。

健康福祉部長 20年度から施行される国の医療制度改革の事業のひとつです。糖尿病等の生活習慣病者の削減を目指すものです。保健師、管理栄養士、看護師がそれぞれの分野で役割を持って指導を行います。

健康福祉部長 現在、39箇所（43区）で実施されています。指導者の養成のため各種講座への参加代表者研修、運動実技などを行い、育成に努めています。また、シルバーヘルパーについては話し相手というのが主な活動です。

公共交通政策について



神田 公司 議員

神田 国土交通省が今国会に「地域公共交通活性化・再生法案」を提出する。この法案では、LRT導入に向けた条件整備として第三セクターがレールを建設、保有し、運行を別の企業が行う「上下分離方式」を認めるというものだ。国土交通省は積極的にLRT化推進を打ち出しており、この流れに乗って、「電鉄のLRT化と市電との結節」を実現しなければならぬ。市長は、この「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律案」について知っているか。

市長 新聞情報の範囲内で、具体的な資料はまだ見ていません。

神田 このベースで行けば「電鉄のLRT化と市電との結節」は何年後か。

市長 現時点ではまだ何年後というのは出ていません。



学校給食は

神田 12月議会で教育委員会事務局長は、「旧合志町を自校方式にする」と給食室のスペース確保、給食室設置の予算、管理面の人件費が課題だ」と答弁したが、その後の検討は。

教育長 教育委員会で精力的に研究しています。総体的に給食が果たしている役割、それから食育との関係、地産地消との関係なども含めて今後、論議していきたい。

合志市の 将来は大丈夫？



来海 恵子 議員

来海 ヴィーブルの活用について、「生涯学習のまち」宣言をした合志町の核がヴィーブルです。利用率は上がっていますが、市民グループのリーダーや市民から親しみやすさや明るさが消えた不満の声が上がっています。以前、来海の質問に機構改革を踏まえて考える」と答弁されましたが、今後のヴィーブルをまちづくりの中でどのように位置づけ、活かしていくのか市長と教育長に伺います。

教育委員会事務局長 3月定例会に提出している

市長 ヴィーブルを活用し、生涯学習の推進、地域づくり、健康づくりなど市民の幸せづくりの拠点としたい。

来海 「菊陽町や大津町」と築き上げる東熊本市への足がかりとして二町合併を行う」という合併時の付帯決議は、合志町民にとつての約束でした。

市長 まずは合志市を魅力ある市にしたいという想いから、合志市のまちづくりには全精力を傾けてきました。この件に関してはこの1年間特別な取

来海 19年度に策定される基本構想に付帯決議は盛り込まれるのか。また、政令都市に対する市長の考えを伺います。

市長 現時点で基本構想に付帯決議を盛り込むことは考えていません。熊本市が政令都市になることは県の浮揚につながることは認識していますが、そのことと本市の合併の件はまったく別でありま



合志市の将来は大丈夫？